

常陸大宮市 議会広報

第30号

平成24年4月25日

発行 常陸大宮市議会



● 主な内容

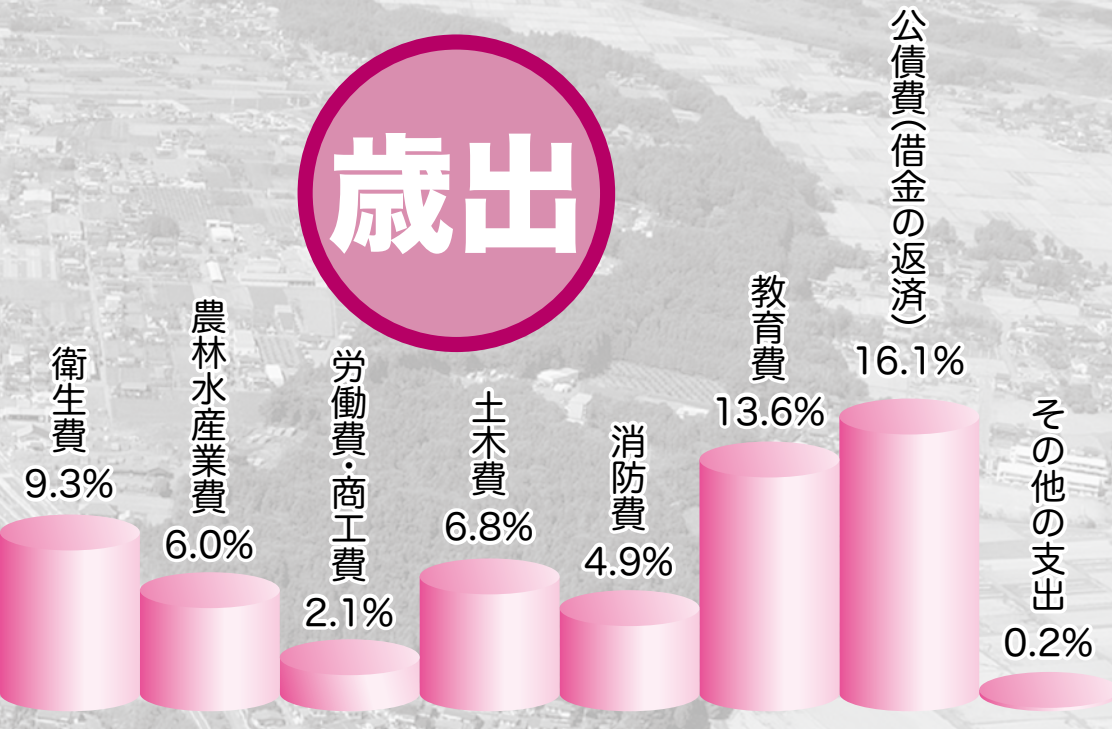
第1回定例会	P. 2
予算審査特別委員会報告	P. 6
常任委員会審査	P. 8
一般質問	P.10
行政視察報告	P.16
請願・陳情	P.17



ドキドキ・ワクワク一年生（上野小学校）

復興への歩み！

歳出



特別会計・事業会計予算

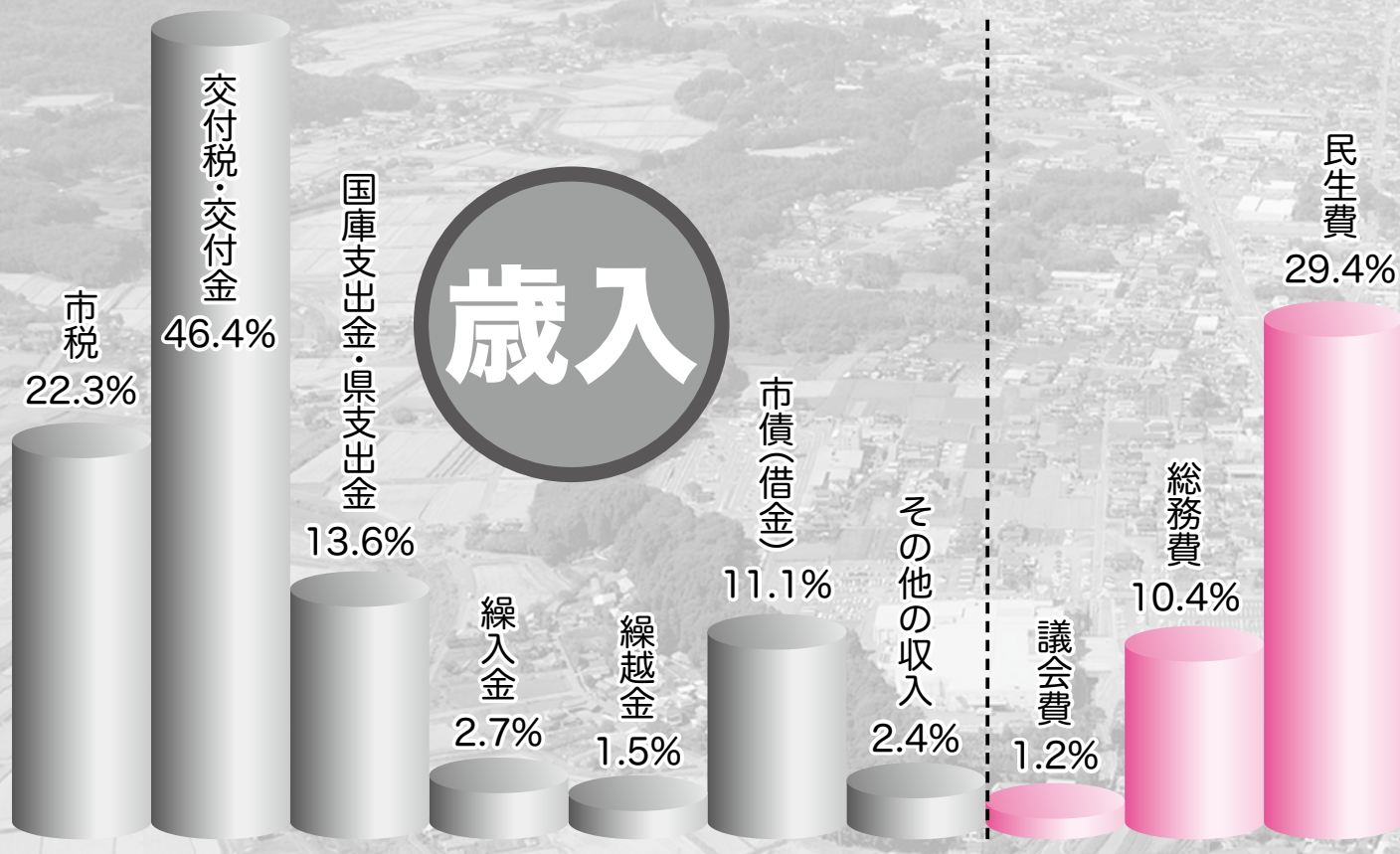
会計名	予算額
国民健康保険特別会計	53億1,200万円
事業勘定	51億2,600万円
診療施設勘定	1億8,600万円
公共下水道事業特別会計	6億4,200万円
公営墓地特別会計	950万円
農業集落排水事業特別会計	5億 500万円
介護保険特別会計	40億2,500万円
簡易水道事業特別会計	10億7,000万円
宅地造成事業特別会計	2,900万円
戸別浄化槽整備事業特別会計	4,750万円
温泉事業特別会計	6,500万円
後期高齢者医療特別会計	4億1,700万円
上水道事業会計	9億2,154万円

平成24年度一般会計・特別会計・事業会計を、予算審査特別委員会において審議し、条例及び補正予算、後期基本計画等を含む43議案を原案のとおり可決しました。

3月定例会

2月28日～3月23日

平成24年度 一般会計 203億円



主な内容

- **地域防災計画の見直し 620万円**
東日本大震災の経験等を踏まえ、地域防災計画を全面的に見直し
- **バイオマス利活用推進事業 421万円**
木質バイオマスボイラーの施設整備、運営計画の作成等
- **専任学校図書館司書配置事業 57万円**
図書に関する相談業務、学習活動を推進
- **道の駅整備事業 699万円**
候補地を1つに絞り込み、基本計画を策定

平成24年度常陸大宮市一般会計予算

討 論

賛成

小森 敏雄 議員

平成24年度は、東日本大震災や固定資産税の評価替え等による市税の減少や、地方特例交付金の減が見込まれる極めて厳しい財政環境の中、復旧・復興を最優先課題とした取り組みが見られます。

総合計画の推進と市内各地域の均衡のとれた発展を目的とした予算編成がなされています。

反対


堀江 鶴治 議員

公共交通システムでの無料パスも発行せず、高齢者に配慮した(システム)改善がなされていない。また、中学3年生までの医療費の無料化など福祉・保健・医療の面でも充実が図られていない。さらに、過疎地域自立促進計画との整合性もとれていないのも問題です。

採決の結果、賛成多数で可決されました。

平成24年第1回定例会議決一覧表

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第3号	平成24年度常陸大宮市一般会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第4号	平成24年度常陸大宮市国民健康保険特別会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第5号	平成24年度常陸大宮市公共下水道事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第6号	平成24年度常陸大宮市公営墓地特別会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第7号	平成24年度常陸大宮市農業集落排水事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第8号	平成24年度常陸大宮市介護保険特別会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第9号	平成24年度常陸大宮市簡易水道事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第10号	平成24年度常陸大宮市宅地造成事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第11号	平成24年度常陸大宮市戸別浄化槽整備事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第12号	平成24年度常陸大宮市温泉事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第13号	平成24年度後期高齢者医療特別会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第14号	平成24年度常陸大宮市上水道事業会計予算	予算審査特別委員会	可決
議案第15号	常陸大宮市震災復興基金条例	総務	可決
議案第16号	常陸大宮市行政組織条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第17号	常陸大宮市移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第18号	常陸大宮市職員定数条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第19号	常陸大宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第20号	常陸大宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第21号	常陸大宮市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第22号	常陸大宮市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第23号	常陸大宮市社会体育施設条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第24号	常陸大宮市火災予防条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第25号	常陸大宮市老人福祉施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	文教福祉	可決
議案第26号	常陸大宮市肉用牛特別導入事業基金条例を廃止する条例	経済建設	可決
議案第27号	常陸大宮市総合計画後期基本計画について	*分割付託	可決
議案第28号	工事請負契約の締結について		可決
議案第29号	市道路線の認定について		可決
議案第30号	市道路線の廃止について		可決
議案第31号	市道路線の変更について		可決
議案第32号	指定管理者の指定について		可決
議案第33号	平成23年度常陸大宮市一般会計補正予算(第10号)	分割付託	可決
議案第34号	平成23年度常陸大宮市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	文教福祉	可決
議案第35号	平成23年度常陸大宮市公共下水道事業特別会計補正予算(第6号)	経済建設	可決
議案第36号	平成23年度常陸大宮市公営墓地特別会計補正予算(第3号)	総務	可決
議案第37号	平成23年度常陸大宮市農業集落排水事業特別会計補正予算(第6号)	経済建設	可決
議案第38号	平成23年度常陸大宮市介護保険特別会計補正予算(第3号)	文教福祉	可決
議案第39号	平成23年度常陸大宮市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	経済建設	可決
議案第40号	平成23年度常陸大宮市宅地造成事業特別会計補正予算(第2号)	経済建設	可決
議案第41号	平成23年度常陸大宮市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算(第4号)	経済建設	可決
議案第42号	平成23年度常陸大宮市温泉事業特別会計補正予算(第2号)	経済建設	可決
議案第43号	平成23年度常陸大宮市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	文教福祉	可決
議案第44号	平成23年度常陸大宮市上水道事業会計補正予算(第4号)	経済建設	可決
議案第45号	工事請負契約の締結について		可決
選挙第1号	常陸大宮市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙(詳細はP18参照)		当選

 分割付託 … 一つの議案を各所管の委員会へ分けて付託すること。

平成23年度補正予算

会計名	補正額
一般会計(第10号)	▲1億43万円
国民健康保険特別会計(第3号)	2,549万円
公共下水道事業特別会計(第6号)	▲2,050万円
公営墓地特別会計(第3号)	290万円
農業集落排水事業特別会計(第6号)	▲7,473万円
介護保険特別会計(第3号)	2億3,888万円
簡易水道事業特別会計(第4号)	▲5,846万円
宅地造成事業特別会計(第2号)	▲250万円
戸別浄化槽整備事業特別会計(第4号)	41万円
温泉事業特別会計(第2号)	債務負担行為の設定
後期高齢者医療特別会計(第1号)	127万円
上水道事業会計(第4号)	▲6,745万円

※債務負担行為の設定…常陸大宮市こぜんやま温泉保養センター「四季彩館」指定管理委託

主な事業

- 全国瞬時警報システム設置工事 **241万円**
- 古代ゾウ化石複製委託料 **35万円**
- 古代ゾウ化石調査委託料 **23万円**
- 震災復興基金創設 **3億円**



古代ゾウ ステゴロフォドン

平成24年第1回臨時会2月16日 議決一覧表

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第1号	常陸大宮市介護保険条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第2号	平成23年度常陸大宮市一般会計補正予算(第9号)		可決

●大宮西小学校増築工事实施設計委託料 **640万円**

「きめ細やかな授業の実施やいじめへの対応」など国の方針に沿った少人数学級化を進めるための増築。



予算を求めて!!

予算審査特別委員会
(3月9日、13日、14日、15日)

環境・まちづくり

Q 市有林整備委託の内容は。

A 市有林の面積は582haです。年次計画により間伐作業等を市内業者に委託し整備しています。間伐した木材で使用できるものは売払いを行い、市の一般財源に充てています。

Q LED防犯灯の設置は計画的か。

A 区長等の要望により設置するもので、設置場所の確定はしていません。高価なため計画的に進められない状況ですが、30基を予定しています。

Q スズメバチの巢の駆除にシルバー人材センターの委託は必要か。

A 平成23年度は543件のうち、シルバー人材センターに165件を依頼しました。これまでも駆除作業に従事しており、今後とも必要と考えます。

Q 防火水槽新設工事設計費について。

A 基本は、外径で4.6m×6m、深さ2mで建設しています。区長からの要望で、狭い土地に設置するために必要な設計変更によるものです。



旧塩田小学校校舎

Q 公文書館整備工事委託料について。

A 旧塩田小学校の教室を書庫及び展示室並びに事務室に改修する予定です。文書や書類などの劣化を防ぐために遮光対策や温度・湿度管理を考慮した改修となり、早期に開設したいと考えています。

教育・福祉

Q 新規の専任学校図書館司書配置事業の内容は。

A 図書に関する相談業務や各教科及び総合的な学習等の支援に携わるため、1名を採用してモデル校を巡り、学校図書館の充実を図ります。

Q 体育協会補助金が昨年より約370万円増になっている理由は。

A これまで市で主催してきた常陸大宮市駅伝大会と近郊中学校スポーツ大会を、(二財)常陸大宮市体育協会主催としたため増になったものです。

Q 中学校教育振興費の中、教材備品の詳細は。

A 武道の必修化により、柔道の授業で使う畳50枚と投げ込み用マット2枚を大宮中学校を除く各校に購入します。

Q 母子家庭自立支援給付金として2名分を計上する根拠と、応募が殺到した場合の対応は。

A 経済的自立に効果的な看護師等の資格を取得するため、養成機関で2年以上修学する場合に、給付上限期間を3年として月額10万円(住民税課税世帯は7万500円)を支給する手当てです。新規のため2名分としましたが、申請があれば人数の制限は設けず補正で対応します。

明確な根拠ある



全員での集中質疑

Q 居宅介護サービス費負担金及び地域密着型介護サービス給付費負担金の計上額が伸びているが、介護の現場と合致しているのか。

A 国の第5期計画の施策に準じた当初予算編成になっており、決算時には変わるとみています。国は、居宅介護サービス費を推進する方針ですが、本市は要介護認定者が増えていくと予想されることから、施設サービスに頼らざるを得ない状況です。

建設・産業

Q 間伐作業道開設補助金の内容は。標準価格2000円/mの7割1400円を補助します。延長は6000mを計画しています。

A 間伐作業道開設補助金の内容は、標準価格2000円/mの7割1400円を補助します。延長は6000mを計画しています。

Q バイオマスの活用推進は。

A 市内の温泉・温浴施設に、現行の重油ボイラーとあわせて木質バイオマスボイラーを設置する方向で検討をしています。

Q 橋梁維持・補修について。

A 平成23年度の点検結果を基に計画を策定します。橋長15m以上のコンクリート橋は、国庫補助対象となります。それ以外の橋は市単独での対応となります。

Q 有害鳥獣捕獲事業の充実は。

A 捕獲隊への補助や防護柵等への対策補助のほか、対策協議会委員との意見交換を実施し、充実を図ります。

Q 道の駅整備事業の進展は。

A 候補地を1つに絞り込み、基本計画の策定を委託します。



間伐作業

Q 2川(2000)愛ある特産品づくり事業の今後は。

A 特産品となる製品が完成したことから、売り出していただけのような各事業所に声をかけていきます。

Q 戸別所得補償制度事業の内容は。

A 一般に転作奨励金と呼ばれている事業で、生産数量目標を達成しつつ、転作に取り組んだ農家に品目別及び面積により補助をするものです。

総務

Q 一般会計補正予算歳入の中、たばこ税の増額は。

A 平成22年10月料金改定による大幅な消費の落ち込みを予測しましたが、予測よりも落ち込みが少なかったことにより増額するものです。

Q 災害対策費の中、食糧費は。

A 缶入りの乾パンのみを備蓄し、水等については、市内業者との応援協定を結んでおり、供給してもらえます。



備蓄倉庫内部（大宮小学校）

Q 行政組織機構の見直しのねらいは。
A 政策調整機能の一元化、歳入管理の一元化、危機管理体制の充実の3つが柱です。

Q 消防機関の職員は変更なしの80名でいいのか。
A 国の指針は122名ですが、定員適正化計画も考えた中、この人員で3部体制で対応しています。

文教福祉

Q 御前山地域の老人福祉施設「むつみ荘」を解体した場合、慰霊祭の休憩所の確保は。

A 土地は市の所有で、慰霊祭の時の休憩所に関しては今後検討します。

Q 常陸大宮済生会病院の現在の医師数と、地域医療を担う人材確保就学資金の利用者は。

A 済生会病院の現在の医師数は16名で、来年度は1名増えて17名になる予定ですが、まだ不足している状況です。現在、就学資金の利用者は1名で、4月16日までが募集期間ですが、申請者もあり増える見込みです。



老人福祉施設「むつみ荘」

Q 介護保険特別会計で、介護給付費準備基金から4000万円余り繰り入れているが、基金残高はいくらあるのか。
A 基金残高は、598万円の見込みです。

常任委員会審査

経済建設

Q 市道等の計画的な整備と請願・陳情等の要望に対する道路整備の取り扱い。

A 道路整備は、緊急性や各地域の状況・バランスなどを考慮しながら、中長期的な実施計画を立て、実施しています。現状は、予算の関係もあり、実施計画通りに進みませんが、市民からの要望をふまえて、計画性を持った道路整備を推進してまいります。



常陸大宮駅西側市道改良舗装

Q 上水道と簡易水道の統合は。

A 平成28年度の統合に向け、水道料金の一歩化も含めた中で進めています。料金については、多面的な角度からいろいろな諸条件をもとに調査や研究を重ね、決定してまいります。

Q 農地の集約化状況は。

A 市の農業公社は、農地利用集積円滑化事業により、農地等を所有者から借り受け、農業をやりたい方に貸すことができるようになったことから、新規での貸付けが平成22年度は、平成21年度と比較して約2・4倍に増加しています。

議会活性化推進調査特別委員会

議会の活性化に向けて
取り組んでいきます

(1) 議会開催の情報周知

現在は、「議会広報」や市ホームページに掲載し周知していますが、今後は市の「お知らせ版」にも掲載します。

(2) 「議会報告会」

「市民・団体との意見・情報交換会」の実施

本市の課題や問題点等を、議員自ら市民に分かりやすく説明するとともに、市民からの意見や要望が市政に反映するよう、議会報告会や市民・団体との意見・情報交換会の実施に向けて検討します。

中間報告



市政を問う!

原発事故発生時の対応は

2月に実施した緒川地域での防災訓練では地震の影響で東海村の原子力発電所では事故が発生し、放射能漏れが起きたとの想定だったがその対策と対応は。

市民部長

迅速、的確に行動し、人命や災害の拡大を防がなければなりません。

今回は飛散に備えて放射能測定検査訓練をおこないました。本市は30キロ圏内に入っているので事故が起きた時には、バスで移動する様になると思いますが、現在、国や県では原子力災害対策防災計画を策定中なので、県の指示を受けながら防災訓練の充実を図ります。

野上 台一
議員



大宮中の改築の方向性は

大宮中学校の校舎は建築後40年が経過しており、また昨年の震災で相当な被害をうけており校舎も使えない状況になった。

大宮中学校の校舎は、今後も使用するのか、改築するのか、いつ頃方向性をだすのか。

教育次長

築40年が経過し、かなり老朽化しています。

現在、復旧が終わり、被災地判定区分調査を実施しており、その結果をお示しながら、改築にするか、改修にするのか、早急に進めたいと考えています。

中学校での柔道の授業は安全か

24年度から中学校の授業で武道が必修となるが本市は柔道を選択したが、頭を強打するなどの事故が全国では確認されている。安全対策はどのようになっていくのか。

教育長

中学校の体育担当教員は、研修会に数多く参加しており、全員が段の資格を取得しています。

4月からの実施に向けて指導内容やけがの予防について最終確認を行うなど指導者のさらなる育成に努めていきます。

その他の質問

・活性化対策について



大宮中学校

授業では、危険な技は取り扱わない、また安全性を配慮した基本動作や基本となる技の取得を中心とした指導内容となっています。

しかしながら、事故が重大な結果を招く危険性があると認識しています。

学校と連携して安全対策についても最善の努力をしていきたいと考えています。

一 般 質 問

原発の危険性に対する認識について伺う

福島原発のような事故は二度と起こさないでほしい、原発を無くしてほしいという世論は、日本中に広がってきています。東海第二原発も福島と同じような事故につながる危険一発の状況でした。その結果、周辺住民と関係自治体の取手市、土浦市、北茨城市が既に、再稼働反対と、廃炉を求める意見書を採択しました。そして茨大名誉教授団、医師、女性団体、民主団体など19団体は、橋本知事あてに廃炉を求める署名を10万2千筆余りを提出したところです。東海村長も脱原発を求めています。現時点での原発の危険性に対する認識について伺います。

堀江 鶴治

議員



市長

日本原子力発電（株）は震災に伴うタービンの損傷等のため、8月まで定期検査を延期しました。知事は「福島原発事故の検証結果が明らかになっておらず、国から再稼働の要請がない上、周辺市町村の意見が分かれている中で急いで結論を出すべきでない」としています。東海村と、隣接する市町で組織する原子力所在地首长懇談会で運転再開の是非を検討しています。安全対策や、事故の際の避難計画などを国が示さない限り判断できないなどの慎重意見が出ていますので、原発の再稼働については、これらの意見を踏まえて現在注意深く見守っています。

原発問題は、専門的な分野ですが、当市には原発問題に当たる専門的知識を持つ職員がいないとのことです。

国が防災計画を作れと言っても、東海原発の30キロ圏内には、水戸・日立などの地域で100万人近い方が住んでいます。もし事故があつた場合、どこに避難しろとか、どうするかというのを計画しろという事自体が、難しい内容ではないかと思えます。原発の再稼働をしなければ、たくさん費用をかけて計画を作ることもないと思うがどうか。

市民部長

国は、地域防災計画の作成に関するマニュアルを4月以降に示すこととしていきますので内容等を検討した

その他の質問

- ・常陸大宮市の総合計画後期基本計画について
- ・消費税の増税はやめさせるべきでは
- ・地域農業を守るために（TPP問題）

上で、国・県の指導を仰ぎ、地域防災計画見直しを進めていきます。専門的な職員の確保につきましては、今後、国・県の指導を受けるとともに、研修会等に数多く参加し知識の習得に努めていきます。



平成24年度当初予算
(案)の検証について

市の総事業数、国補事業数、県補助事業数並びに市単独事業数について伺います。

総務部長

予算上742事業です。うち国庫支出金の充当事業は48事業、県支出金の充当事業が93事業、そのうち国・県重複が14事業、市の単独事業は、615事業です。

前から法定外普通税や超過課税の研究をということまで申しあげている。近隣市町村や人口類似の市、例えば隣の常陸太田、那珂、東海高萩、北茨城等々においても法人関係の税目については、しっかりと超過課税をやっております。なぜ常陸大宮市がやっていないのか、

大貫 道夫

議員



疑問です。今後、研究して頂けるのか伺います。

総務部長

法人関係税につきまして、大きなウエイトを占めているところです。その税割りに関しては、標準税率、制限税率ですが、当市としましては標準税率を採用しているところです。制限税率を設けますと高い税率になるわけですが、今の段階では特に考えていません。

公債費について、普通会計、特別会計を含んだ償還計画について伺います。

総務部長

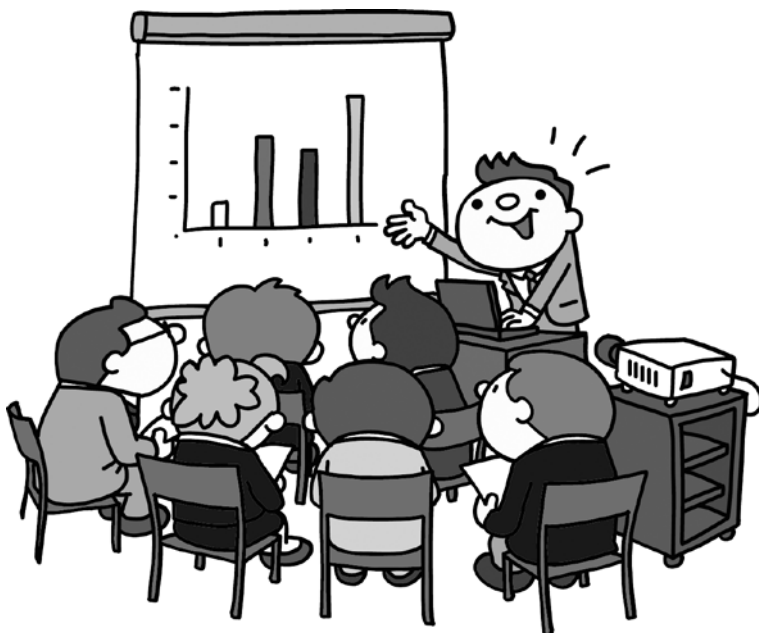
公債費の償還、元金、利子は、平成24年度、元金が35億6800万円余り、利子が6億5000万円余りです。平成25年度の公債台帳の数字は、元金

34億1000万円余り、利子が5億3000万円余り、合計39億4000万円余りです、26年度は、元金が32億9000万円余り、利子が4億7000万円余り、合計で37億7000万円余りで推移してまいります。

外部評価委員会からの事務事業の評価、議会からの事務評価などを 予算にどの様に反映したか伺います。

総務部長

納税組合関係、むつみ荘管理運営事業については、全部減額しているところであります。またお祭りの補助金は、地域の活性化に資するものであり、すぐさま2分の1の補助とするわけにもいきませんので、今後十分検討しなくてはならない課題であると考えています。



その他の質問

・公的会計の現状と課題について

一 般 質 問

墓地需要が多くなっている現在、墓地建設の今後の具体的な計画はあるのか質問します。

市民部長 現在、市においては、若林、石沢、そして山方の小貫地区を合わせて1052区画の墓地が整備、管理されています。昨年、4月をもつてすべて完売となっているところですが、このようなか中で、市民の方々から、整備の要望、あわせて墓地に係る社会情勢や人々の価値観の変化等の状況を踏まえ、当市にふさわしい、そしてこれからのニーズにこたえられる墓地を整備すべく、去る2月に常陸大宮市墓地等対策検討委員会を立ち上げました。整備の方針

市営墓地について

墓地需要が多くなっている現在、墓地建設の今後の具体的な計画はあるのか質問します。

柏 宏明

議員



や候補地等につきまして審議をお願いしているところです。

現在の若林霊園は墓地に行くまでの市道が狭く、車がすれ違えない状態です。



若林霊園

特に入り口付近の近く2か所は特にひどいです。順次、市道の拡幅工事の計画はあるのか。

経済建設部長

県道小場常陸大宮停車場線から市営墓地を通りまして工業団地まで向かう道路ですが、屈曲も多く、幅員も狭いということ、加えまして工業団地に通う車の通量も多いというようなかことで、車両の通行に影響が出ていることは認識をしています。現在、玉川にかかります田中橋から先180mの未改良箇所につきましては、測量まで実施をしています。地元副区长あるいは地権者と協議をして、整備を検討していきます。

その他の質問

・工事の設計委託について

公共下水道について

現在、下水道計画のもとに施工している箇所はどこか。

上下水道部長

現在、施工している箇所ですが、抽ヶ台町の一部、泉地区の一部を施工しています。

宇留野地区の住民は下水道整備をしてくださいと熱望しています。いつごろかかれるようになるのか。

上下水道部長

都市計画区域内の宇留野地区については、全体の計画区域に入っています。現在、許可区域の整備の進捗状況や社会情勢等の変化に合わせて、今後検討したいと思います。

補助金について

中高一貫教育振興連絡協議会補助金は、県内初の中高一貫教育校として美和・緒川・御前山、3中学校と小瀬高校の連携がスムーズに運営されるための補助金です。大きな事業の一つにオーストラリア・ギンピーハイスクールとの（旧緒川村の時からスタートした）10年以上続いている国際交流に大きな資金が必要でありました。128万円の予算額が減額され平成24年度から23万円5000円となった理由をお聞かせ下さい。

教育次長

監査委員から補助金等見直し要綱の趣旨に沿った事業補助にする申請内容への指導がありました。市の国

内田 勝廣

議員



際交流事業の推進と高校の趣旨は異なるため、小瀬高校は県関連の補助事業を活用すべき。など、協議検討の上、その額になっていま

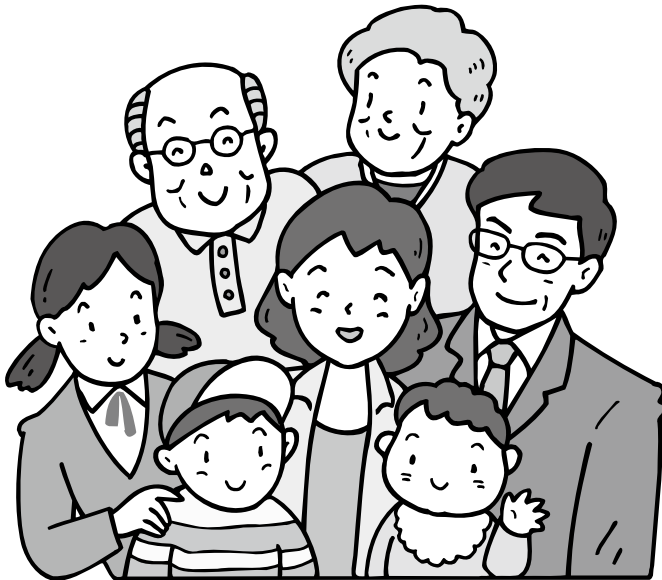
常陸大宮市補助金等見直し要綱（平成18年）には期間は原則3年以内と明記されており、6年もの間、推進していない理由について、また、要綱に沿って完了する時期はいつになるのか。

総務部長

補助金等審議会の審査により、3年に一度すべての単独補助金についてゼロベースで見直すこととしており、平成21年度に実施し、平成24年度も行います。

しかし、来年度からすぐ金額を2分の1にすると

か、ただちに廃止にするとは困難なものなど、段階的な見直しが必要な補助金や、市の役割を補完する公共性の高い事業に対しての補助金もあります。



地域集会施設について

市管理施設と地区管理施設の維持管理費の総額とその差については。

総務部長

それぞれの施設数と維持管理費の総額につきまして、地区所有の集会施設は110施設で1300万円ほどとなっており、市所有の集会施設は42施設で1400万円余りとなっております。市所有の集会施設は、地区所有の集会施設とは、事業内容や施設規模が異なることもあり、一概に比較する事は難しいと考えます。

一 般 質 問

中学校施設整備と 防災教育の今後は

文科省は平成27年度迄の
できるだけ早い時期に耐震
化完了の目標設定をした
が、大宮中、緒川中、また
大宮二中の整備をどう進め
るのか。

教育次長

大宮中は被災度判定調査
の結果をふまえて速やかに
着手し、大宮二中也財源の
確保を図り早急に進めなけ
ればと認識しています。緒
川中は、その後に進めてい
きます。

大震災を受けて具体的に
防災教育をどう推進するの
か。

教育長

1. 保護者に引き渡す訓
練や登下校時に児童生徒が
自ら対応できるように危機管

吉川 美保

議員



理マニユアルの範囲を拡大
しています。

2. 校長や管理職の危機
管理能力の向上に努めま
す。

3. 児童生徒が主体性を
もって、自らの生命を守り
抜く行動ができるように指
導します。

4. 災害情報の入手方法
や教育委員会からの指示、
保護者への連絡方法の確保
を関係各課と連携して進め
ます。

※「脳脊髄液減少症」 の認知を

部活動や学校生活の中、
体調不良な児童生徒への対
応として、教育現場にこの
病名の認知冊子を。

教育長

平成19年に文科省から学
校におけるスポーツ外傷等
の後遺症への適切な対応に
ついての事務連絡を受けて
います。養護教諭20名のう
ち約3割がこの疾病を良く

知っている、6割が名前だ
けは知っているというのが
現状です。冊子を配布する
前に、養護教諭を中心に職
員全体で、その症状・対応
についてしっかり研修して
いきます。



脳脊髄液減少症とは、体への衝撃により、
脳脊髄液が漏れ続け減少することで頭痛
やめまい、吐き気等の症状が慢性的に続
く病気。

その他の質問

・福祉施策について

復興まちづくり 交付金の使途は

住家一部損壊でも取り壊
しや、宅地・擁壁等の復旧
工事を余儀なくされている
被災者への助成は。

総務部長

充当事業は学校の耐震化
や道路整備等を計画してい
ます。ソフト面では、被災
住宅修繕のための借り入れ
資金の利子助成を検討した
いと考えています。

市民部長

防災意識啓発の冊子や個
人携帯情報シートの配布を。
防災冊子は万一の備えに
大変有効であること、又、
個人携帯情報シートの導入
についても、平成23年度か
ら取り組んだ救急キットの
活用状況を把握し、どちら
も今後の検討課題とします。

議会運営委員会

日時 平成24年1月18日
視察先 ひたちなか市議会

石岡市議会

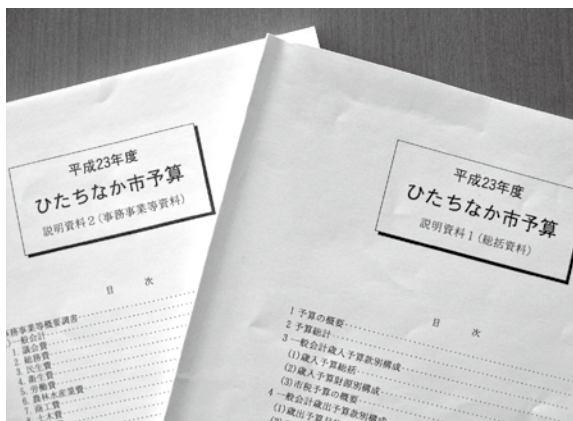
目的 予算・決算の審査及び会期日程について

ひたちなか市議会

予算・決算委員会は各12人で構成され審議に5日間をあてる。効率性の観点から事前説明会を行っている。
補正予算の審査はすべて予算委員会に付託し、最終日に採決をしている。(3月定例会は初日に付託、2日目の本会議で採決)

石岡市議会

予算・決算特別委員会は全議員で構成。事前に会計ごとに概要説明を行っている。審査日数は予算で5日間、(質疑は1人30分以内)、決算は3日間、(質疑は1人20分以内)としている。



ひたちなか市予算説明資料

研修から学ぶこと

説明資料の充実、事前説明会、また、ひたちなか市の予算委員会の常任委員化など、これらを参考に効率的かつ効果的な審査ができるよう、予算・決算審査のあり方の検討を重ねることが必要である。

行政視察

議会広報常任委員会

日時 平成24年1月16日
視察先 那珂市議会
目的 議会広報の編集について

広報編集委員会は、副議長と3常任委員会から各2名の計7名で構成されている。「読んでもらえる広報紙」にするため、市民にとって関心の深いものを中心に記事を整理し、手に取りやすいよう16ページを基本としている。

一般質問は1ページにつき2議員とし、内容を理解し易くするため、図表等を積極的に取り入れている。また、請願・陳情は結果だけでなく意見集約までの過程を簡潔に記載している。

研修から学ぶこと

議会への関心理解は、まず広報紙からという原点に立ち、現在の『編集要領』の弾力化を図ることも視野にいれ、各ページの充実に工夫をしていきたい。



那珂市議会広報

あなたが出された 請願・陳情は！

請願

番号	件名	提出者	紹介議員	付託委員会	結果
第6号	「東海第2原発の廃炉を求める意見書」採択を求める請願書	常陸大宮市中富町1065-3 新日本婦人の会常陸大宮支部 支部長 切石トシコ	金子 卓 堀江鶴治	総務	不採択
第1号	市道8-1654号線（野口上郷地区）拡幅改良工事に関する請願書	常陸大宮市野口3332 野口第3区長 皆川 啓ほか41人	柏 宏明	経済建設	採択
第2号	常陸大宮市石沢地内市道2076号線の道路改良並びに私道の市道化に関する請願書	常陸大宮市石沢1530 石沢区長 笹沼 功ほか24人	小橋輝夫	経済建設	採択
第3号	市道5050号線（抽ヶ台地区）拡幅改良工事に関する請願書	常陸大宮市抽ヶ台町3357-4 大宮第4区長 宇留野弘一ほか5人	柏 宏明	経済建設	採択

陳情

番号	件名	提出者	付託委員会	結果
第1号	東海第二原発の廃炉を求める陳情書	常陸大宮市姥賀町554-4 おおみや平和の会 会長 小野瀬 實	総務	不採択
第2号	東海第二原発の廃炉を求める陳情書	常陸大宮市鷲子148 美和・緒川平和の会 会長 堀江 仙三	総務	不採択

閉会中の委員会のうごき

議会運営委員会・各常任委員会・行財政改革推進特別委員会・議会活性化推進調査特別委員会は議会の閉会中も次のような調査や審査を行っています。

議会運営委員会

- ・ 4月19日(木)インターネット配信について
- ・ 6月 6日(水)第2回定例会について

議会広報常任委員会

- ・ 3月30日(金)広報第30号の発行について
- ・ 4月 6日(金)広報第30号の発行について
- ・ 4月13日(金)広報第30号の発行について

総務常任委員会

- ・ 5月中旬 震災に伴う復旧・復興について

行財政改革推進特別委員会

- ・ 4月10日(火)行財政改革推進特別委員会調査報告について
- ・ 4月24日(火)行財政改革推進特別委員会調査報告について

文教福祉常任委員会

- ・ 5月下旬 震災に伴う復旧・復興について
中学校統廃合の調査研究について

経済建設常任委員会

- ・ 5月中旬 震災に伴う復旧・復興について
林業の振興について

議会活性化推進調査特別委員会

- ・ 4月10日(火)議会活性化推進調査(第7回)
- ・ 4月19日(木)議会活性化推進調査(第8回)

各種団体代表者との意見交換会

3月28日(水) 震災対策委員会



写真提供：益子勝美氏

大震災から1年を経て、災害時における市内各種団体との協働の体制づくりについて、活発に意見を交換しました。

区長会、自主防災組織、連合民生・児童委員協議会、女性団体連絡会、ボランティア連絡協議会、身体障害者福祉会、手をつなぐ育成会、精神障害者を守る会の各代表者から寄せられた貴重なご意見等は、市防災計画見直し時の議会からの提言に活かしていきます。

常陸大宮市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙当選人

委員 後藤つや子氏（小祝）、三次克巳氏（西野内）、田澤佳治氏（大岩）、石川博保氏（長倉）
補充員 滝正大氏（鷲子）、後藤将美氏（田子内町）、三次克氏（山方）、廣木文子氏（鷹巣）

第2回定例会会期日程（予定）

月日	曜	会議	事項
6月12日	火	本会議	開会、議案説明
6月13日	水	休会	議案調査
6月14日	木	休会	議案調査
6月15日	金	本会議	質疑
6月18日	月	常任委員会	
6月19日	火	常任委員会	
6月20日	水	常任委員会	
6月21日	木	休会	議案調査
6月22日	金	本会議	一般質問
6月25日	月	本会議	一般質問
6月26日	火	本会議	一般質問
6月27日	水	休会	議案調査
6月28日	木	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

※都合により日程を変更する場合があります。

議会を傍聴してみませんか？

傍聴券は、会議の当日に傍聴受付（4階議会事務局）において、先着順により交付します。

傍聴人の定員は30人です。定員を超えた場合は、4階傍聴ロビーのモニターでご覧いただけます。（第1回定例会の傍聴者は52人でした。）



大宮地方環境整備組合人事

木村 勝昭議員が、組合第1回定例会において議長に選出されました。

発行責任者 常陸大宮市議会議長
編集 議会広報常任委員会
〒319-2292
茨城県常陸大宮市中富町3135-6
TEL 0295-52-1111(代) 内線413
0295-53-0393(直)
FAX 0295-52-2186
E-mail gikai@city.hitachiomiya.lg.jp
URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/
市議会広報は、ホームページでもご覧になれます。

編集後記

長く厳しい冬が過ぎ、やっと暖かい春が巡ってきました。今定例会においては議会改革の一環として予算審査特別委員会を設置し平成24年度予算を審議しました。
この新年度予算が市民生活の更なる向上に役立っていくことを願って止みません。
これからも広報委員一同、新たな気持ちで議会活動報告を読みやすい紙面の充実に向けてがんばって参りますので、ご意見をお寄せ下さるようお願い申し上げます。
委員 淀川 茂樹